

第78回 装道大学講座のご案内

日本文化を甦らせ「愛美礼和の四徳」を次代に伝える。

第78回装道大学講座は下記の講師陣を迎え華やかに行われます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

装道講座 全会場

「装道」創始者
やまなか のりお
山中典士
先生

叡智の世紀に
輝く装道哲学



- ①人生の幸・不幸は出会いの選択である
一良き師を得ざれば学ばざるに如かず (道元)
- ②真の教育を誤ってきた日本の現状
- ③装道半世紀の山中典士の歴史的発見
- ④女性の最高の仕合せ人生哲学
- ⑤装道教育と着付け教室の違いに誇りを持とう
- ⑥成長を続ける人と老化する人
- ⑦人に喜びを与えることを目指す時代です
- ⑧学校教育で学べない真の人生教育

■プロフィール：(公社)全日本きものコンサルタント協会会長、装道礼法きもの学院会長、全日本マナー検定協会会長。愛と美と礼と和の服装哲学「装道」を日本はもとより世界に伝え、海外装道礼法きもの文化使節団100カ国歴訪を達成する。「愛と智慧の出発」「あなた的美を引き出す本」「美のパスポート」「21世紀拓く幸福哲学のすすめ」「もっともっと美しく」「日本人の知らない日本の叡智」「日本を甦らせる智慧」「きもの大使 世界百カ国奮闘記」「心を磨く一日一話」など著書多数。

特別講座 東京会場

臨床心理士・
子どもヨーガ研究家
いとう かの
伊藤華野
しつけ 先生

子どもの躰
～子どもの身を美しく
育てる心のヨーガ～



子どものカラダが危ない！と叫ばれはじめて数十年が経ちます。美しい礼ができるカラダ、日本の伝統文化・きものをスラリと装えるカラダは現代社会の生活では育ちづらくなっています。カラダは心をあらわします。子どものイキキとしたカラダはおとなのどのような眼差しによって育まれるのでしょうか。当日は東北大震災以後、慰霊のために創作した舞ヨーガを、子どもたちと共に奉納させていただきます。

■プロフィール：1985年より幼稚園での保育にヨーガを導入し、大学院では姿勢づくりへの効果を検証。基本姿勢は環境や人に「快い」立居振舞の要と考え、ヨーガを活用したオリジナルなマナー練習を地域で開催、2000年からは小学校総合的学習の時間に導入している。主な単著に絵本『子どもとおとなのキレイな姿勢づくり～まねまねヨーガ』、ムック『はじめよう！キッズ・ヨーガ』、DVD『みんなで楽しくまねまねヨーガ』等多数。総合絵本『月刊ひかりのくに』にて子どもヨーガを継続連載中。http://www.itokano.com/ 京都西山短期大学専任講師。

特別講座 名古屋

東海テレビアナウンサー
たかい はじめ
高井一
先生

きものが映える
言葉づかい



きものを装うと背筋が伸びて、自然と立居振舞にも気を使うようになります。では、きもの姿での言葉づかいはどうでしょう。今は、「スゴ～イ」「ヤバイ」「ディスル」といった若者言葉やカタカナ語など、和の装いに不似合な言葉が溢れています。

「言葉のお洒落は最高の身だしなみ」と言われます。きもの姿にふさわしい言葉や声について考えてみましょう。

■プロフィール：京都生まれ、同志社大学卒。東海テレビアナウンサーとして、スポーツ・情報・ニュース等を担当。フジテレビ系列放送用語委員。名古屋大学大学院多元数理科学修了。現在は情報番組「スイッチ」で旧街道を歩き、地元の歴史・文化や人との出会いを楽しんでいる。

特別講座 大阪会場

帝塚山大学
文化創造学科教授
にしやま あつし
西山厚
先生

女性と仏教



日本に仏教が伝わった時、最初に出家したのは女性でした。日本の仏教は女性が幕を開けたのです。それ以来、日本では、女性が仏教を支えてきました。苦しみ悲しみのなかから生まれた仏教。女性は男性よりも苦しみ悲しむことが多いので、女性と仏教はもともと親しい関係にありました。目からウロコの話の数々、必聴の講座です。

■プロフィール：徳島県生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。専門は日本仏教史。奈良国立博物館学芸部長を経て、2014年4月より帝塚山大学文学部に新設された文化創造学科の教授に就任。奈良国立博物館では「女性と仏教」など数多くの特別展を企画。奈良と仏教をメインテーマに、生きた言葉で語る活動が続いている。主な編著書に「仏教発見!」、 「東大寺」など多数。

